

平成 14 年度
都市景観大賞「美しいまちなみ賞」

受賞地区の概要

「都市景観の日」実行委員会

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」について

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」は、美しいまちなみを創り、育てるために、公民が協力し、ハードとソフトを含めた総合的な取り組みが行われている地区を全国から募集し、その中でも特に優れた地区について表彰を行い、広く国民に紹介していくことにより、より良い都市空間の形成を目指すものです。

【対象地区の要件】

次の二つの要件に該当する地区を対象とします。

- (1) 地方公共団体（市町村又は特別区）と市民等が協力し、街路や公園等の公共空間と建築物等による民有空間を一体とした美しいまちなみが整備されていること。建築物等の規制・誘導、電線類の処理、広告物の整序などが考慮されており、あわせて沿道景観等にも配慮した道路等の公共施設の整備が行われていること等。
- (2) まちなみの維持・保全に係わる NPO 等のまちづくり組織等*¹が設立され、適切に管理・運営がなされるとともに、まちなみが十分に活用され、地域の活性化が図られていること。

【審査と表彰】

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」審査委員会において、応募図書等をもとに、まちなみの整備や維持、保全に関する活動の新しさ、独創性、模範性などのほか、地域再生、都市再生や観光交流面でのアピール性等を審査した上で、下記の3つの賞を選定します。

- ① **美しいまちなみ大賞** ……国土交通大臣による表彰
- ② **美しいまちなみ優秀賞** ……(財)都市づくりパブリックデザインセンター会長による表彰
- ③ **美しいまちなみ特別賞** ……(財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長による表彰

【都市景観大賞「美しいまちなみ賞」審査委員会 委員名簿】

委員長	中村 良夫	東京工業大学 名誉教授
委員	岩渕 潤子	静岡芸術文化大学 助教授
	加藤 源	都市プランナー
	岸井 隆幸	日本大学 教授
	輿水 肇	明治大学 教授
	富田 玲子	建築家
	西沢 健	環境・工業デザイナー
	松葉 一清	建築評論家
	面出 薫	照明デザイナー
	山岡 義典	日本 NPO センター常務理事／法政大学 教授
	原田 保夫	国土交通省 都市・地域整備局 都市計画課課長
	小前 繁	国土交通省 都市・地域整備局 市街地整備課 課長

(順不同、敬称略)

平成14年度 都市景観大賞「美しいまちなみ賞」受賞地区一覧

「美しいまちなみ大賞」

地区名	応募者
飯山市愛宕町雁木通り地区	・愛宕寺町つくろう会 ・飯山市
金沢市瑞樹団地地区	・みずき町会 ・金沢市
神戸市松本地区「せせらぎ歩道」地区	・松本地区まちづくり協議会 ・神戸市 ・(株)環境緑地設計研究所

「美しいまちなみ優秀賞」

地区名	応募者
ニセコ町綺羅街道地区	・ニセコ綺羅街道住民会議 ・北海道 ニセコ町 ・ニセコ21世紀まちづくり委員会
彦根市夢京橋キャスルロード地区	・本町まちなみ委員会 ・彦根市
檀原市今井地区	・今井町町並み保存会 ・檀原市
善通寺市善通寺地区	・中央地区やすらぎの街づくり協議会 ・善通寺市 ・香川県善通寺土木事務所
不知火町松合地区	・松合の町並み保存会 ・熊本県 不知火町

「美しいまちなみ特別賞」

地区名	応募者
足立区本木二丁目地区	・本木二丁目地区まちづくり連絡会 ・足立区 ・(財)足立区まちづくり公社

審査委員 講評

■飯山市愛宕町雁木通り地区

住民と行政による10年以上の長期間にわたる協働作業の賜物。町並みは各戸をつらぬいて流れる共通の作法が重要であり、ここでは雁木を町なみ作法に用い、しかも仏具という地場産業に結びつけた点が評価できる。官民が協力し、雁木の良さを理解し、よくここまで再現されたものである。

■金沢市瑞樹団地地区

田園地帯に計画された当団地は金沢らしさを上手く伝えながら清楚にデザインされている。街路のヒエラルキーが明快であり、官民が連続する緑豊かなニュータウン景観を形成している。緑地協定は、植栽の種類や量、その維持管理等、細部にわたっており、また住民意識の高揚にもつながっている。全体として本賞を受賞するにふさわしい地区である。

■神戸市松本地区「せせらぎ歩道」地区

震災復興を短期間によくここまで完成させたと思う。住民と行政の協働により、街づくりを提案し、せせらぎ構想を実現したもので、住民による水路清掃、小魚の放流、水生植物鉢の設置など参加型のまちづくりが着実に育っていることが評価できる。

★ニセコ町綺羅街道地区

地区計画はなくても、住民合意のガイドラインだけで、よくこれだけの成果があがったものだ。街づくり設計チームの活躍を大いに評価したい。商店街店舗前面壁・ファサードの木製の木組みや手作り看板は大変面白いアイデアである。

★彦根市夢京橋キャスルロード地区

街づくり通信や勉強会などの熱心な様子がよく分かる。ライトアップされた建物も楽しそうである。既に一度受賞した地区であるが、住民と共にこれだけの街をつくり上げたことは賞賛に値する。また、地区計画の効果をよく見せている。

★橿原市今井地区

わが国を代表する伝統的建造物群保存地区における住民による粘り強い町なみ保存についての取り組みであり、文化財愛護の啓発、イベントの開催、協定の締結等、その活動も活発である。伝建地区における住民の取り組みとしてのモデル地区であり、受賞に値する。

★善通寺市善通寺地区

アダプションプログラム・里親制度による清掃活動の実施、道路の愛称の決定等、地道な活動を通じての景観形成への取り組みである。東西交差軸となる道路に配置されたフットライトは、お洒落で良い。

★不知火町松合地区

町なみ保存された土蔵白壁が何よりの財産である。台風、高潮による町並みの被害、その後の住民一体による復興の取り組み、その結果として、美しい景観づくりに明確な成果が現れている。

▼足立区本木二丁目地区

2項道路の整備を通じた景観づくりの取り組みであり、住宅が行政に協力し、地道に作った身近な風景である。住民の多大な協力は、高く評価され、特別賞に値する取り組みである。

美しいまちなみ大賞

飯山市愛宕町雁木通り地区

所在地 長野県飯山市
地区面積 約20.0ha
応募者 愛宕寺町つくろう会
飯山市

<地区の概要>

愛宕町は飯山市街地の北に位置し、伝統産業である仏壇店が軒を連ね、多くの寺院が建ち並ぶ「寺の町」である。

多くの歴史的・文化的遺産、伝統技術が残されており、これらを生かし、新たな創造を加えることにより、経済的にも文化的にも潤いのあるまちづくりを実現させる活動が始められた。

雁木通りの道路改良や雁木の復活にあたっては、住民協定の締結・ワークショップを通じてまちなみのあり方を語り、住民要望を実現させた。また雁木通り沿道では、雁木通りの復活にあわせ、自販機の自主規制や案内板のデザインの工夫、花修景などの活動も進めている。



▲「寺の街並み事業」が完了し復活した雁木。雁木の設計、舗装の色、電柱の配置等に住民の意見を反映。通りを横切る電線は極力少なくし、沿道に花を飾り、潤いある景観を創出。



▲冬の仏壇通り。車道は無散水融雪装置により、積雪・凍結を防止。雁木と行灯風の街灯が優しい雰囲気醸し出す。



▲雪と寺の町公園の休憩処。土蔵を移築、改装して整備。寺の町に調和している。



▲街並み整備事業にあわせて沿道各戸でも街並みを良くしようと努力している。雁木の風情に合わせ、自動販売機も目立たないように工夫。雁木に樽プランターが調和している。



▲地元商店街主催の奥信濃特産祭り。多くの人が訪れる。



▲寺めぐり遊歩道には、寺の風情にあった山野草が住民の手で植えられ、手入れも行き届いている。

美しいまちなみ大賞

金沢市瑞樹団地地区

所在地 石川県金沢市
地区面積 約19.6ha
応募者 みずき町会
金沢市

<地区の概要>

当地区は、金沢市北東の田園地帯にあり、貴重な水生動植物の宝庫河北潟にもほど近い、自然環境に恵まれた地域である。自然を積極的に取り入れ「新しい街と自然とが共存した生活環境」の創造を図っており、電線類の地中化で、ゆとりのあるすっきりとした景観が保たれている。周辺景観との調和を重視し、建物にも高さの制限や色調・形態のガイドラインを設け「古都金沢にふさわしい街並みづくり」を実践している。さらに、環境や街並みの保全、維持とともに更なる景観水準の向上を図るため、定期的に園芸教室を開くなど、住民が一丸となった活動を続けている。



▲ 瑞樹団地は、金沢市の中心部から約6kmの田園地帯に位置する。



▲ 「金沢らしさ」を醸し出す落ち着いた黒瓦・勾配屋根の家並み。



▲ 茶色やグレーを基調にした家並みが、調和のとれた街並みを創出。散歩と語らいの歩行者優先の街路空間。



▲ 電線類を地中化し、ゆとりのあるすっきりとした街並みを実現。敷地周辺には緑豊かな生け垣を設置。



▲ 樹脂舗装と自然石を配置した、生活道路としての歩行者専用道路。



▲ 多目的広場を備えた住民交流エリアとしての瑞樹中央公園。

美しいまちなみ大賞

神戸市松本地区「せせらぎ歩道」地区

所在地 兵庫県神戸市
地区面積 約8.9ha
応募者 松本地区まちづくり協議会
神戸市
(株)環境緑地設計研究所

<地区の概要>

当地区は、阪神淡路大震災で約8割の家屋が被災し、そのほとんどが火災での焼失だった。市は震災からの早期復興を図り、防災性に優れた市街地整備を行うため、土地区画整理事業を着手した。これを契機として、まちづくり協議会が結成され、まちの復興とともに景観に対する取組みも行われた。都市計画道路松本線の北側広幅員歩道部分に「せせらぎ歩道」を設け、憩いと安らぎのある景観を創出するとともに、無電柱化を行い、地区計画による沿道建物のコントロール等により、地区のシンボルにふさわしい街路空間の景観形成が図られた。



▲ 阪神淡路大震災による被災（右上写真）から立ち直った現在の松本地区の全景（左下写真）。



▲ 松本通り7丁目の「せせらぎ歩道」。木々の緑と階段状のせせらぎが美しい景観を形成。（写真提供：読売新聞）



▲ 学校帰りの高校生が談笑している公園風の「東屋」



▲ 「せせらぎ歩道」に四季折々の花を植えている協議会活動。



▲ 毎月2回実施されるせせらぎの美化活動。



▲ 「せせらぎ歩道」完成式典の様子。子供たちによる金魚、メダカの放流。

美しいまちなみ優秀賞

ニセコ町綺羅街道地区

所在地
地区面積
応募者

北海道ニセコ町
約3.6ha
ニセコ綺羅街道住民会議
ニセコ町
ニセコ21世紀まちづくり委員会

<地区の概要>

当地区は、ニセコ町のほぼ中央に位置し、メイン通りである道道岩内洞爺線の沿線に商店や民家が張付いている。ニセコ町の中心市街地として発展してきたが、印象に乏しく、核となる施設もなく衰退傾向にあったため、道道岩内洞爺線の景観向上、個性溢れるニセコ町の顔作りが必要であった。そこで、住民参加による推進会議・連絡調整会議を開催し、地元住民の意見を取り入れ、自然と調和したまちづくりを目指し、商店街の活性化と美しい街なみ景観を整備してきた。街なみ整備にあたっては、「街並み形成ガイドライン」「ニセコ町本通地区景観形成基準」により、統一感のある整備を行った。また、整備が完了した綺羅街道を舞台に、花をきっかけとする様々なイベントを展開している。剪定、除草、日常の清掃活動等を行っている。



▲当地区は中心市街地に位置し、道道岩内洞爺線沿道に商店、住宅等が立地している。ニセコ大橋（写真丈夫）の先には温泉、スキー場を中心とするリゾートエリアが広がる。



▲電線類を地中化し、統一デザインによる信号柱、街路灯が整備されている。



▲賑わうポケットパーク。



▲商店の統一フレーム（木製）と商店前の植栽。



▲綺羅街道住民、一般町民による「ニセコ花フェスタ2002綺羅街道」イベントの植栽作業風景。



▲観光客で賑わいを見せ始めた綺羅街道。

美しいまちなみ優秀賞

彦根市夢京橋キャスルロード地区

所在地
地区面積
応募者

滋賀県彦根市
約3.1ha
本町まちなみ委員会
彦根市

<地区の概要>

当地区は、彦根市の中心市街地として発展してきた町であり、城郭の至近であることから歴史的にも特徴のある都市景観が形成されてきた。しかし、地区内の道路は狭く、近年のモータリゼーションの発達に対応できなくなり、都市核とはなり得なくなってきた。

そこで、街路事業の実施にあわせて、沿道地域において彦根城下町にふさわしいまちなみ景観を再生することにより、歴史、伝統を今に生かした「まちなみづくり」が行われた。住民が中心となって景観コードを作成し、それに基づき行政側が地区計画を決定。建物の高さや様式を統一してヒューマンスケールのまちなみを醸成している。



▲ 本町地区の基点である京橋からの全景。



▲ 緑陰機能や四季感のある並木植栽。



▲ 四季感のある並木植栽。



▲ 伝統的建築意匠の再生に努めている建物景観。



▲ 夜間景観。



▲ 春に行われる、地区の商店街組合主催による花よりだんご祭りの風景。

美しいまちなみ優秀賞 橿原市今井地区

所在地
地区面積
応募者

奈良県橿原市
約17.4ha
今井町町並み保存会
橿原市

<地区の概要>

当地区は、四周を環濠に囲まれた「環濠集落」であり、我が国
有数の大規模な歴史的市街地である。建物の約6割が伝統的な様
式を持つ町家であり、その歴史的重要性から「重要伝統的建造物
群保存地区」に選定されている。

伝統的建造物は、外観を伝統的様式に保存修理をし、それ以外
の建築物は、歴史的風致にあわすように修景され、道路は歴史的
景観を配慮した整備をした。また、町の特徴である旧環濠と門を
復元的に整備し、町の境界を明確化した。そして、今井町町並み
保存会による重要文化財愛護の啓発、町家を利用したイベントの
開催などが行われている。歴史的建物の保存と居住者の生活環境
がうまく調和し、町のアイデンティティーが見える町になっている。



▲当地区は近鉄八木駅の南西約700mに位置し、四周を濠に囲まれた「環濠集落」である。



▲昭和58年に制度化された今井町並み保存対策補助金要綱に基づいて修景された酒屋。



▲まちなみ環境整備事業によって電線類の地中化が図られた中町筋。



▲1階「みせ みせおく」部分に取り付けられた格子。



▲伝統的建造物については保存、修復を図り、その他の建造物についても外観等の修復を図り、歴史的な町並みを形成している。



▲5月に開催された「第7回今井町並み散歩」での茶行列の様子。この他に、重文指定の公開、六斎市、飛脚リレー、瓦づくり体験等が行われた。

美しいまちなみ優秀賞

善通寺市善通寺地区

所在地
地区面積
応募者

香川県善通寺市
約200ha
中央地区やすらぎの街づくり協議会
善通寺市
香川県善通寺土木事務所

<地区の概要>

当地区の市街地中心には、五重塔がそびえ、その周囲には金毘羅街道の名残のある町並みが広がり、旧陸軍の師団開設に伴い近代化が進んだ地区には、明治・大正期を代表する歴史的建造物郡が多数残されており、基盤の目に走る道路と相成って個性的な景観を形成している。

市では、「中心市街地へのアクセス道路の確保」「公共施設、歴史的建造物と商店街を結ぶ回遊道路の整備」「高品質舗装やせせらぎ水路によるやすらぎ空間の創設」を柱としたまちづくりを進めている。また、市民によるまちづくり協議会や里親制度による道路清掃により、景観に対する取組みが行われている。



▲ 鎌倉通り線から善通寺五重塔を望む。善通寺はこの地に生まれた弘法大師が建立したもので、市を代表する歴史的建造物である。



▲ 歴史空間軸：鎌倉通り線。歩車道すべてを石張り、歩道上に石を配置。白壁にはライトアップをして夜間景観を演出。



▲ 歴史空間軸：鎌倉通り線。歩道幅員を大きくとり（平均5.5m）せせらぎ水路を流して景観を演出。



▲ 市道大門通り線から五重塔を望む。水路は二重構造で下部は従来の排水路（暗渠）、上部は地下水を循環するせせらぎ水路。



▲ 旧陸軍第11師団の関連建物。写真左が兵器庫跡、写真右が将軍達の社交場として使用された借行舎跡。市の重要な歴史的建造物となっている。



▲ 東西交通軸：生野線。フットライトの上部は場所によって色が次第に変化し、夜間景観を演出。

美しいまちなみ優秀賞

不知火町松合地区

所在地
地区面積
応募者

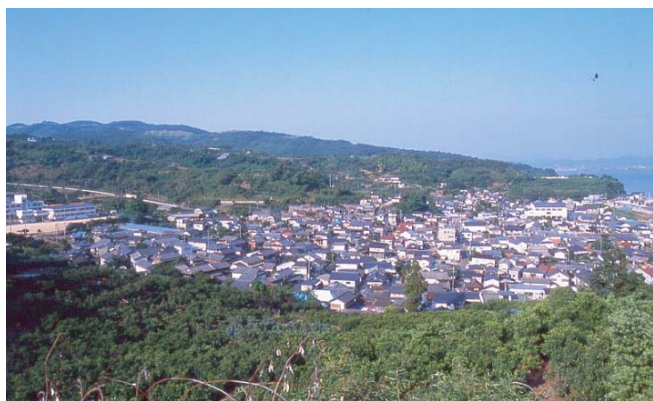
熊本県不知火町
約20.0ha
松合の町並み保存会
不知火町

<地区の概要>

当地区は、土蔵白壁建物が全戸数の約6分の1残存し、歴史的にも学術的にも価値がある建物群が一箇所に集中して町並みを形成している。

「蔵のある町並み」づくりを目指して、土蔵白壁建物を改修、復元し「郷土資料館」や「ビジターセンター」などを建設した。地域の活性化に向けた取組みとして、まちおこしグループの活動拠点をはじめ、来訪者との交流・休憩の場等を提供。

平成11年に台風による大きな災害を受けたが、地区住民が一体となってその復興に努めた結果、修景の成果が明確に見られるようになってきた。



▲ 地区全景。西側からの俯瞰。



▲ 土蔵白壁の町並み。本通り中央付近。



▲ 土蔵白壁修景家屋をバックにしたミニ公園。



▲ 左側の土蔵白壁の建物がビジターセンター。



▲ 右側の建物は平成12年度に修景した家屋。



▲ 玄関横に立てられた標灯。

美しいまちなみ特別賞

足立区本木二丁目地区

所在地 東京都足立区
地区面積 約5.9ha
応募者 本木二丁目地区まちづくり連絡会
足立区
(財)足立区まちづくり公社

<地区の概要>

当地区は、住宅や工場が都市基盤の未整備のまま、住工混在する過密都市へと発達してきた。そのため4m以下の狭隘道路が多く、災害時の危険性について強く指摘されていた。

昭和62年9月から「街なみ環境整備事業」を導入して地区のまちづくりに取り組むことにした。路線整備協定等を締結し、行政と住民が一体となって、道路舗装やカラー電柱化をはじめ、沿道緑化等の整備により地区の街なみ形成を図った。この事業を契機に、地域コミュニティがさらに活性化し、区のまちづくりモデル地区の一つともなっている。観光客の増加にもつながっている。



▲ 整備地区の代表的な町並み景観。沿道緑化、カラー電柱、架空電線整理、インターロッキング舗装。



▲ 道路拡幅整備。



▲ 角地。民地無償借地型ポケットパーク整備(自主管理)。プチテラス整備事業、彫刻のあるまちづくり事業、生垣緑化等。



▲ 地区内公園(334㎡)。地元自主管理。住民参加型による計画・設計。



▲ 道路際民地の緑化。彫刻のあるまちづくり事業、生垣緑化。



▲ 地元中曽根神社祭礼。道路の拡幅整備により、神輿や山車の地区内巡行ができるようになった。